

京都美容専門学校

自己評価結果報告書

< 2024 年度 >

【 評価基準 】

- ◎ 適切
- ほぼ適切
- × 不適切

令和 7 年 5 月

1. 教育理念、目的、育成人材像

	評価項目	自己評価	自己評価結果	課題・改善策等
1	学校の理念・目的・育成人材像は定められているか	◎	教育理念である「技術だけでなく人間性も育てていく」を形成すべくカリキュラム、授業内容を組み立てている。	
2	学校における教育の特色は何か	◎	現代の名工や日本髪結髪保存会宗師らによる日本文化、京都文化のカリキュラムなどの授業のほか、選択授業として専門分野の講師による時代のニーズに沿った、実践力や人間力を育むための授業や行事を取り入れている。	
3	社会経済ニーズを踏まえた学校の将来構想は抱いているか	◎	少子高齢化に伴い美容業界への雇用難を踏まえ、美容師国家資格取得に必要な技術を基本とし、常に美容業界の現場で求められる心技体を教育し、就職のサポートができるよう各企業と連携しトレンドの変化に対応できる学校であり続けようとしている。	

2. 学校運営

	評価項目	自己評価	自己評価結果	課題・改善策等
1	目的に沿った運営方針が策定されているか	◎	年度末の運営会議において校長が作成した計画を全体会議にて周知徹底している。	
2	運営方針に沿った、事業計画が策定されているか	◎	改善点を常に検討できるよう教職員全体で情報共有を行っている	
3	運営組織や意思決定機能などにおいて明確化されているか	◎	諸規定により規定されており、意思決定においても速やかに行われている。	
4	人事、給与に関する規程など整備されているか	◎	人事、給与については就業規則並びに諸規定によって規定されている。	
5	教務、財務など組織整備など意思決定システムは整備されているか	◎	諸規定により規定されており、意思決定においても速やかに行われている。	
6	情報システム化等による業務の効率化が図られているか	◎	学内システム導入による業務効率化を図っている。	
7	教育活動などに関する情報公開が適切になされているか	◎	HP等により情報公開に努めており、さらなる情報公開を進めていく。	

3. 教育活動

	評価項目	自己評価	自己評価結果	課題・改善策等
1	教育理念に沿った教育課程の編成、実施方法などが作成されているか	◎	「技術だけでなく人間性も育てていく」という教育理念のもと、全ての教職員の意識統一がなされ教育を実施している。	
2	教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえて学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	◎	美容業界へ進むための基本である美容師国家資格取得はもちろんのこと社会にでて、役に立つ人材教育をするべく教育到達レベル、学習時間の確保に努めている。	
3	カリキュラムは体系的に編成されているか	◎	カリキュラムにおいては、社会の流れを把握し、どのような技術が必要か常に話し合わせ、毎年細かく見直しを行っている。また、少子高齢化、福祉社会を見据え、福祉美容としてのカリキュラムを実施している。	
4	美容業界の連携によりカリキュラムの作成、見直し等が実施されているか	◎	同上	

5	授業評価の実施・評価体制はあるか	◎	授業評価においては学生より毎年アンケートを実施し、内容によっては見直しを行い教職員一同、学生の満足度向上に努めている。	
6	成績評価・単位認定、進級・卒業認定の基準は明確か	◎	2学期制とし、学期ごとに試験を実施し、各教科、科目の評価、欠席・遅刻・早退数の管理を行い、進級・卒業判定を明確に学則に定めている。	
7	資格取得等に関する指導体制を明確にしているか	◎	美容師国家資格取得は全学生の目標である。その他の資格についても全学生が目指す資格、選択科目にて目指す資格の検定対策を行い、全員合格を目指している。	
8	人材育成目標の達成に向け授業を行うことが出来る要件を備えた教員を確保しているか	◎	教員の確保については、美容を通じて1-1で掲げている「技術力だけでなく人間性も育てていく」ことをもとに、多彩なキャリアをもって本校のカリキュラムに適した教員の確保を行っている。	

9	美容分野における先端技術・知識を習得するための研修や教員の指導力の育成などの向上のための取り組みが行われているか	◎	教職員の指導力や技術向上を常に意識づけるために研修会の実施を行っている。	研修会については様々なテーマを設けていけるよう研修の情報収集を実施していく。
10	職員の能力開発のための研修は行われているか	◎	同上	

4. 学修成果

	評価項目	自己評価	自己評価結果	課題・改善策等
1	就職率の向上はなされているか	◎	就職希望者の就職率は 100%を実現している。	
2	美容師資格の取得はなされているか	◎	美容師国家資格取得については 98.3%（2名の未取得者）であった。目標である 100%の実現はできなかったが、全国の合格率 88.1%を大幅に上回ることができた。	
3	その他美容関連の資格取得はなされているか	◎	十分な成果を実現している。	

4	退学率の低減が図られているか	○	6%の退学率となり、退学率低減は実現ができた。引き続き各担任教員が各生徒を把握し、教職員間で情報共有し、保護者と密に連携を図りながら解決を図っていく。	多様なカリキュラムの中、美容師国家資格取得をあきらめる生徒がいた。また、国家資格がなくても就業できる美容業へ進路を希望する生徒が増えてきている。美容師国家資格が美容業にとって、いかに必要な資格であるかを理解してもらえよう入学前から、HPの記載方法、ガイダンスでの案内を工夫する。
5	卒業生・在校生の社会的活動、評価を把握しているか	○	卒業生とのつながりは深く、常に報告、相談ができる環境を卒業生オーナーによる就職活動などで提供できるよう勤めている。	同窓会を開催しさらに若年の卒業生に対しての対応を検討する必要がある。
6	卒業生のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	○	同上	

5. 学生支援

	評価項目	自己評価	自己評価結果	課題・改善策等
1	進路・就職に関する支援体制は整備されているか	○	就職担当者が主となり1年次より就職に向けての意識づけを実施し、2年次では進級後、各担任教員と面談を行い、教職員で共有し就職活動の支援を	CareerMap（キャリアマップ）を導入し就職活動の参考資料として比較できるようにしているが、運用方法含め検討する必要がある。また、さまざまな情報

			実施している。	を得るために卒業生はもちろん第三者の意見など取り入れ支援体制の強化を図っていく必要がある。
2	学生相談に関する体制は整備されているか	◎	就職担当教員、各担当教員が常に相談できる体制が整備されている。	
3	学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	◎	経済的支援体制については日本学生支援機構奨学金制度、国の教育ローン制度のほか、本校独自の授業料免除制度を設けている。 また、高等教育の修学支援新制度の認定校となり支援実施を行っている。	
4	学生の健康管理の支援体制は整備されているか	◎	健康管理については毎年、健康診断を実施している。	
5	課外活動に対する支援体制は整備されているか	◎	課外行事について計画とおり整備され、実施することができた。	今後、計画を実施していくにあたり物価高騰による障害が考えられるため、学費等を再考する必要がある。
6	学生の生活環境への支援はあるか	◎	独自のサポートとして、一人暮らし応援制度や、昼食代の補助を実施している。提携教育機関からはそれぞれの奨	

			学金制度を受け、生徒へ提供することができた。	
7	保護者と適正に連携しているか	◎	保護者には学期末成績表の送付、欠席の目立つ生徒の案内を都度通知し、保護者と情報共有をしている。	
8	卒業への支援環境はあるか	◎	卒業に向けての単位取得に対し、技術試験、筆記試験において不足が認められた場合は補講を実施し、卒業と認められるまで対応している。	
9	社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	◎	既卒入学者に向けた学費支援制度をハローワークと連携することにより設けている。	

6. 教育環境

	評価項目	自己評価	自己評価結果	課題・改善策等
1	施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	◎	施設・設備については学習環境に影響がでないよう、学生や教員の意見を取り入れ整備を進めている。	

2	学校外での実務実習、インターンシップ、海外研修などの実施の体制は整備されているか	○	インターンシップについては対応できる企業からの案内を実施したが任意での参加のため参加者がいなかった。海外研修については計画したが予算高騰にて参加希望者がいなかった。	特に海外研修については任意であるため、物価高騰による予算増が参加の意欲の障害になっている。将来ためになる、刺激のある行事の一つとし渡航先、工程内容含め工夫する必要がある。
3	防災に対する体制は整備されているか	◎	防火管理者による防災計画を定め、毎年防火訓練を実施している。災害時の対処方法を具体的に指導し、十分に伝えられるよう整備している。	

7. 学生の受け入れ募集

	評価項目	自己評価	自己評価結果	課題・改善策等
1	学生募集活動は適切に行われているか	◎	教育機関として節度ある学生募集活動を実施している。	
2	学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	◎	国家試験合格率や就職内定率等、パンフレットやHP等にて公表している。また、オープンキャンパス内での学校説明でも正確に伝えるよう努めている。	

3	学納金は妥当なものになっているか	◎	学費等、納付金額については妥当と判断している。	物価高騰により、カリキュラムに沿った材料、道具等を提供するにあたり授業料の値上げを検討する必要あり。
---	------------------	---	-------------------------	--

8. 財務

	評価項目	自己評価	自己評価結果	課題・改善策等
1	中長期的に学校の財務基盤は安定しているか	◎	おおむね安定した財務基盤であると判断している。	
2	予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	◎	おおむね妥当と判断している。	
3	財務に関する会計監査は適切に行われているか	◎	適切に実施している。	
4	財務情報公開の体制は整備されているか	◎	整備されている。	

9. 法令等の遵守

	評価項目	自己評価	自己評価結果	課題・改善策等
1	法令、専門学校設置基準などの遵守と適正な運営がなされているか	◎	法令、設置基準に関してはそれらを遵守したうえで、適正な運営がなされている。	
2	個人情報に対し、その保護のための対策がなされているか	◎	個人情報の取扱いについては、十分に注意し教職員はもちろん、学生にも指	

			導している。	
3	個人評価の実施と問題点の改善を行っているか	◎	教職員会議にて常に、些細な事でも報告し合い、問題の早期発見、解決に努めている。	
4	自己評価を公開しているか	◎	適正に公開している。	

10. 社会貢献・地域貢献

	評価項目	自己評価	自己評価結果	課題・改善策等
1	学生のボランティア活動を奨励・支援しているか	◎	学外イベントの美容技術ボランティア要請に対し支援できた。また、学内ではオープンキャンパスなどの行事でのボランティア活動を奨励した。	
2	地域に対する公開講座・教育訓練の受託等を積極的に実施しているか	◎	高等学校への出向いての公開講座を実施し進路選択の知識の一つとして提供できた。	